

平成 24(2012)年度事業報告書

一般財団法人 高度映像情報センター
(A V C C)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

I 霞が関ナレッジスクエア(KK²)事業

(1) 事業全体

-1 所感

働く人の人材育成(しごと力向上)を社会的使命として取り組んでいた我が国の多くの組織は、昨今残念ながらその使命を放棄し個々人の自己責任に帰す傾向が進んでいます。KK²事業ではこの個々人を、「アソシエイト」(新社会人から 30 歳代半ばの筏下りステージ)、「リーダー」(頂を目指し険しい道に挑戦する山登りステージ)、「シニア」(長い下り坂をアクティブに生きるキャリア活用ステージ)の三つの層に大別し、いつでもどこでも誰でも学べるライブ学習、オンデマンド学習、コミュニティ活動を提供してまいりました。

この活動を通じて痛感したことが二点あります。一つは、派遣社員制度等の濫用に端を発した(嫌な言葉ですが)「勝ち組」「負け組」の格差がますます拡大していること。もう一つは、いい学校出ていい組織に座る「勝ち組」がその立場にあぐらをかき、頂を目指さず筏下りを続けていることです。超高齢化が進む我が国にあって、国民一人一人の「しごと力向上」が緊急の課題であることを確信致しました。学校教育でも企業内教育でもない開かれた新しい社会教育システム「デジタル公民館」活動を粛々と進め、「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」というミッションにまい進いたします。来年度もご支援よろしくお願いいたします。

-2 H24 年度自主プログラムと延べ参加者数

H24 年度自主プログラムとして提供したコンテンツ数は 133 となりました。またプログラム延べ参加者数は、KK² 施設での参加者が 1,691 名。通信衛星によるライブ配信による参加者は、末崎地区公民館で 920 名、長洞元気村仮設住宅集会所で 112 名。インターネットによるライブ配信の参加者が 167 名。WEB サイトで公開されたオンデマンドコンテンツによる参加者が 5,151 名。合計 8,071 名の参加者数となりました。

図-1 自主プログラムと参加者数

	プログラム内容	コンテンツ数	KK2施設参加者合計	属性内訳			遠隔地参加者合計	会場別内訳				オンデマンド視聴者	合計
				(メンバー)	(Web会員)	(一般)		末崎地区公民館(衛星)	長洞元気村(衛星)	その他会場(ライブ配信)	職場・自宅(ライブ配信)		
(1)人と人の絆と地域の再生	“復興まちづくり”シンポジウム	1	79	(29)	(27)	(23)	(54)	(5)	(6)	(18)	(25)	191	324
	復興支援ITボランティア事業等への場の提供 ※1	23	468	(45)	(132)	(291)	10				(10)	63	541
	デジタル公民館“まっさき”事業 スタッフ(ボランティア)						364	※2 (364)					364
	デジタル公民館“まっさき”事業 参加者						451	(451)					451
(2)しごと力向上、エキスパートと学ぶ	エキスパート・スタジオ	5	162	(54)	(59)	(49)	123	(12)	(20)	(12)	(79)	637	922
	KK ² しごと力道場	1	11	(8)		(3)						75	86
	KK ² カウンセリングプログラム		41	(1)	(40)								41
	KK ² キャリアカフェ	6	53	(25)	(12)	(16)						136	189
	コンピンシー・チェック(Web)											22	22
	しごと力向上ライブラリ(Web)	12										1,632	1,632
	KK ² goodbooks(Web)	60											
	イノベーションプログラム	1	13	(3)	(10)		17				(17)	190	220
(3)社会の課題を担うアクティブシニアを応援	エキスパート・スタジオ	1	47	(9)		(38)	29	(4)	(10)	(0)	(15)	172	248
(4)日本文化に親しむ交流事業(KK2文化プログラム)	ワインセミナー	5	136	(59)	(55)	(22)						474	610
	露が関寄席	12	441	(144)	(167)	(130)	130	(70)	(60)			554	1,125
	露が関ミュージックサロン	3	139	(20)	(2)	(117)	30	(14)	(16)			884	1,053
	露が関シアター	1	25	(10)	(13)	(2)						78	103
その他(協賛プログラム)	サンケイリビング新聞社 ※1	2	76			(76)	21				(21)	43	140
	合計	133	1,691	(407)	(517)	(767)	1,229	(920)	(112)	(30)	(167)	5,151	8,071

※1 KK² 協賛プログラム

※2 末崎地区公民館(衛星)の参加人数は、H24 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」での現地活動参加、ライブ配信参加の合計です。

-3 メンバー数および WEB 会員数

H24 年度末時点でのメンバー数および WEB 会員数は以下の通りです。

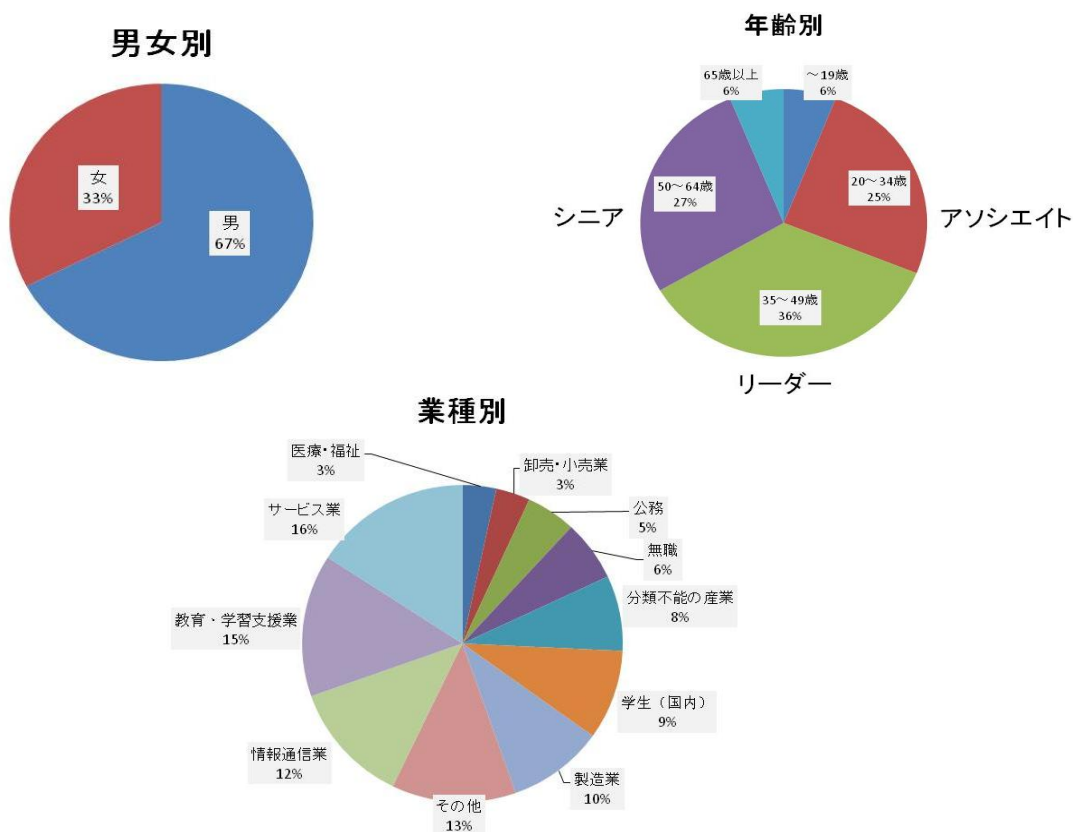
図-2 メンバー数および WEB 会員数

	(単位: 社・団体)					協賛 (個人) メンバー	Web会員
	協賛メンバー (小計)	民間企業・ 各種団体	NPO法人	大学・専門 学校	法人メンバー		
H24年度	41	26	3	12	7	32名	7,268名
H23年度	41	28	1	12	7	35名	6,432名

メンバー数は H23 年度に比べて大きな変化はありません。事業への協賛という視点からの会員獲得は厳し状況が続いています。新規会員獲得に向けた提案活動や事業の PR 活動の強化が H25 年度以降の課題です。

WEB 会員は今年度 836 人増えて 7,268 名となりました。WEB 会員の属性は以下の通りです。

図-3 WEB 会員の属性



KK² プログラムが対象者としている「アソシエイト」(20～34 歳)、「リーダー」(35 歳～49 歳)、「シニア」(50 歳～64)各層それぞれ約 3 割と均等な割合となっています。

-4 施設利用者延べ数

ラウンジの利用人数は減少していますが、自主事業やスタジオ及びエキスパート倶楽部の利用人数は増加しています。

図-4 KK² 施設利用者延べ数

	スタジオ				ラウンジ		エキスパート倶楽部			KK2施設 ご利用者 合計
	利用人数計	KK2主催事業 参加者	主催事業数	レンタルス ペース利用者	利用人数計	利用人数計	ランチ利用者	パーティ参加 者	KK2主催事業 参加者	
平成24年度	6,461名	1,691名	37回	4,770名	1,848名	18,872名	15,108名	3,234名	530名	27,181名
平成23年度	6,399名	1,348名	35回	5,061名	2,462名	17,485名	14,670名	2,374名	441名	26,346名
平成22年度	5,972名	1,533名	39回	4,439名	3,088名	15,642名	(内訳なし)			24,702名
平成21年度	6,745名	1,325名	45回	5,420名	2,829名	16,598名	(内訳なし)			26,172名
平成20年度	5,715名	937名	18回	4,778名	2,563名	18,756名	(内訳なし)			27,034名

※協賛プログラム参加者、カウンセリングプログラムは、KK2主催事業に含む

(2) 人と人の絆と地域の再生

-1 "故郷創世学習コンソーシアム"事業

H23 年度の「ICT を活用した生涯学習支援事業」(文科省委託事業)の経験を生かし、都心(霞が関等)と被災地の公民館を結ぶ連携事業として "故郷創世学習コンソーシアム"を組織、4、5、6、7 月の復興支援 IT ボランティアと連携し取り組みました。

主な目的は以下の 5 つです。

- ① ICT 活用プラットフォーム整備
- ② 住民の ICT リテラシー向上
- ③ コミュニティリーダー育成
- ④ 自立、奉仕、助け合いによる全員参加のコミュニティづくり
- ⑤ 資源の顕在化と PB ブランド商品開発を立ち上げ

具体的には前年度集めた義援金を活用し、岩手県大船渡市の末崎町地区公民館(ふるさとセンター)に以下の 3 つを整備し、KK² と末崎地区公民館をネットワークでつなぎました。

- ① パラボラアンテナ+STB 設置による通信衛星受信環境を整備
- ② ADSL 回線と無線 LAN によるインターネット環境を整備し、住民用インターネットパソコンを 2 台設置
- ③ テレビ会議(復興支援 IT ボランティア事業関連で別途導入)の開通

図-5 まっさき・元気村・KK²の連携



これにより、主な KK² プログラム「霞が関寄席」「霞が関ミュージックサロン」「復興まちづくりシンポジウム」「エキスパート・スタジオ」等を末崎地区公民館と長洞元気村仮設住宅集会所にライブ配信しました。

また、末崎地区公民館に設置した住民が自由に使えるパソコンは、KK² より有害ソフトのフィルタリングや使用状況の遠隔管理を行い、利用時間の内訳は下記の通りとなっています。非常に良く利用されました。

図-6 末崎地区公民館設置 PC の利用時間

2012年 4～5月	6月	7月	8月	合 計	9月	10月	11月	12月	2013年 1月	2月	3月	合 計
01:54	01:49	16:10	13:39	33H39分	12:17	26:39	27:07	46:39	19:43	15:33	11:29	192H59分
00:31	06:52	66:47	70:35	144H45分	19:32	01:27	00:00	21:14	21:31	15:57	55:07	279H33分
02:25	08:41	82:57	84:14	178H17分	31:49	28:06	27:07	67:53	41:14	31:30	66:36	472H32分

-2 「「復興まちづくり」シンポジウム」の開催

本プログラムでは、3.11 東日本大震災発災以降の復興プロセスと取り組みについて、大船渡市末崎地区公民館近藤均氏、陸前高田市市長洞元気村村上誠二氏、復興支援 IT ボランティア総括池本修悟氏、復興庁岡本全勝統括官よりお話をいただきました。被災地の地域再生に挑むコミュニティーリーダー、被災地にボランティアを送る NPO リーダーと復興庁責任者が同じテーブルで議論や意見交換をする有意義な場となりました。

写真-1 復興まちづくりシンポジウム



「ICT活用によるまちづくり」「公民館の役割」「公平性と平等性の壁」「地域再生人材の育成」「自然と人間の折り合い」といったテーマに沿って発表と意見交換を行い、復興まちづくりに向けた自助、共助、公助、官民連携協力の必要性などが話し合われました。当日の参加状況は、下記の通りです。

図-7 復興まちづくりシンポジウム参加者数

タイトル	開催日時	参加者数								オンデマンド視聴者	合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	末崎公民館 (衛星)	長洞元気村 (衛星)	その他会場 志働塾 福岡館	職場・自宅		
「復興まちづくり」シンポジウム「復興まちづくりに取り組む被災地と求められる行政、企業、NPOの支援とは」 「ITで心と心をつなぐボランティア」：池本 修悟氏 「みんなで楽しい、そんな町にしたい」：近藤 均氏 「住民の絆で集落単位の復興」：村上 誠二氏 「復興の現状と課題」：岡本 全勝氏	2012/07/03(火) 14:45-17:30	79名	(29名)	(27名)	(23名)	5名	6名	18名	25名	191名	324名

-3 H24 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」 大船渡市“デジタル公民館” まっさき 運営協議会

“故郷創世学習コンソーシアム”の環境整備等に着手して3ヶ月、「H24 年度 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」（復興庁／文部科学省）の公募があり、自主事業として準備していた“故郷創世学習コンソーシアム”プランを基に、大船渡市教育委員会のご協力を得て事業計画書を作成し、7月上旬「大船渡市“デジタル公民館” まっさき 運営協議会」として応募、8月15日付で事業が採択されました。

9月から3月にかけて、毎月第2土日の現地活動としてITボランティア活動を通じた地域住民のICT活用支援をベースに、地域再生や人材育成に向けた研修・講習事業の実施、地域の学び、地域情報の発掘と発信、「デジタル公民館まっさき」ウェブサイトの構築と運営などに取り組みました。

写真-2 デジタル公民館まっさきサイト



URL: <http://www.massaki.jp/>

なお、運営協議会の委員は、次の通りです。

図-8 “デジタル公民館” まっさき運営協議会委員（敬称略）

代表	久保田 了司	財団法人高度映像情報センター理事 霞が関ナレッジスクエア代表
副代表	近藤 均	大船渡市末崎地区公民館（ふるさとセンター）館長
委員	木川田 大典	大船渡市教育委員会生涯学習課長
委員	豊重 哲郎	鹿児島県鹿屋市串良町柳谷（やねだん）自治公民館館長
委員	池本 修悟	特定非営利活動法人NPO事業サポートセンター専務理事
委員	堀池 喜一郎	好齡ビジネスパートナーズ世話人／どこ竹@竹とんぼ教室武蔵野三鷹 顧問
委員	吉田 敦也	NPO法人いきいきネットとくしま理事長／徳島大学地域創生センター長
委員	伊庭野 基明	財団法人高度映像情報センター理事／グローバルキャリアカウンセラー
委員	伊藤 健二	慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特任准教授
委員	丸山 修	財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局

大船渡市“デジタル公民館まっさき”の活動参加人数は、委員、コーディネータ及び学生、社会人、シニアの三世代から構成されるボランティアスタッフの合計が延べ 364 名、被災地住民の方など公民館に来られた被災地参加者合計は延べ 451 名となり、末崎地区人口の約 10%にあたります。

また月一回の被災地での活動の無い期間、ふるさとセンター共有スペースに設置したパソコン(2台)は、延べ 372 時間 1 分という住民の方々のご利用実績を残しました。

詳しい事業内容・報告、被災地の方々の利用については、[「H24 年度 文部科学省 学びを通じた地域コミュニティ再生支援事業」報告書](#)をご参照ください。

この活動を通じて知った被災地の課題を二点ご報告します。

① 公助当てにできず

3.11 東日本大震災発災から数ヶ月後、人口約 4,500 人、1,600 世帯中 650 世帯が津波で流失した大船渡市末崎地区の避難所だった古い公民館を訪ね驚きました。情報インフラは電話線 1 本でインターネット環境無し、地域の名誉職的な公民館長と傘下の集落公民館長で館長不在時をカバーする主事、朝晩の鍵開閉とお掃除担当の女性、常勤者の居ないスタッフ体制でした。

市町村合併で大船渡市となったこの地区に行政の出先機関は無く、中心的施設である公民館にも行政スタッフは不在、正に“公助当てにできず”だったのです。幸いに自立的コミュニティ形成を日頃から心がけてきた公民館長を中心に、まずは自分達で何とかしよう、

仲間で助け合おう、というコミュニティが培われていました。そのコミュニティに対して直に出来ることとして、ADSL 回線によるネット環境を整備し、住民が自由に使えるパソコンを設置、CS アンテナを設置して KK² プログラムを受信、月一回ボランティアスタッフが訪問する活動がスタートした訳です。

但しご高齢の公民館長（コミュニティリーダー）に、行政も支援団体も頼りきっているのがこの地域の明らかなリスクです。行政に頼らない地域として復興発展していくには、次世代のコミュニティリーダーの育成が最大の課題です。

② 運用教育が伴わないハードばかりの復興

H 2 5 年 2 月末崎地区公民館事務室の光景には驚きました。防災行政無線と思われる大きなサーバ装置、衛星電話、光回線が突然設置されていましたが、公民館スタッフには、何の為に付けたのか？誰が操作するのか？どう使うのか？等の説明が無く、サーバ装置と公民館スタッフが狭いスペースで同居できるか？という物理的問題が発生していました。常勤者の居ない老朽化した施設に、高度なシステムが考慮されずに導入されています。

公助によるシステムインフラ、自助共助の上に立つ運営体制、自治体職員・住民の危機管理教育が、地域毎にマネジメントされ三位一体で推進されることが重要です。有事の際公助がしばらく及ばない間、地域住民の自助共助からなる「市民救助隊(Community First Responder)」が機能するようなコミュニティ作りが重要な課題です。

-4 官僚、NPO、企業 CSR 関係者等の連携に資する場の提供

官僚、NPO、企業の CSR 関係者による連携交流を目的とした「KK² ランチミーティング」の場、復興支援 IT ボランティア活動の事前研修・オリエンテーションの場等、地の利を活かし情報連携や新たな人と人の絆作りに資する場を提供しました。

図-9 官僚、NPO、企業 CSR 関係者等の連携に資する場の提供

タイトル	開催日時	参加者数						合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ	オンデマンド 視聴者	
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/04/11(水) 11:30-14:30	20名	(3名)	(15名)	(1名)			20名
復興支援ITボランティア オリエンテーション 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/05/09(水) 17:30-21:30	16名	(3名)	(11名)	(2名)			16名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/05/16(水) 11:30-14:30	23名	(3名)	(15名)	(5名)			23名
復興支援ITボランティア オリエンテーション 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/06/05(火) 17:30-21:30	30名	(3名)		(27名)			30名
思いやり経営コンソーシアム公開セミナー 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/06/08(金) 10:00-12:00	35名			(35名)			35名
霞が関(KK2)フォーラム2012 第6回「白熱討論！これからの『農業』を語ろう」 主催：霞が関(KK2)をつくる市民キャビネット	2012/06/18(月) 17:00-21:00	67名			(67名)			67名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/06/20(水) 11:30-14:30	12名	(3名)	(8名)	(1名)			12名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/07/11(水) 11:30-14:30	13名	(3名)	(9名)	(1名)			13名
復興支援ITボランティア オリエンテーション 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/07/11(水) 17:30-21:30	25名	(3名)		(22名)			25名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/08/08(水) 11:30-14:30	8名	(3名)	(5名)				8名
霞が関(KK2)フォーラム2012 第6回「地域で子供が育つ、大人が育つ」 主催：霞が関(KK2)をつくる市民キャビネット	2012/08/22(水) 18:00-21:00	80名			(80名)			80名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/09/12(水) 11:30-14:30	11名	(3名)	(7名)	(1名)			11名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/10/10(水) 11:30-14:30	14名	(3名)	(10名)	(1名)			14名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2012/11/14(水) 11:30-14:30	11名	(3名)	(7名)	(1名)			11名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2013/01/09(水) 11:30-14:30	13名	(3名)	(9名)	(1名)			13名
『＜霞ヶ関で働く＞パパ・ママのための子育てハッピーアドバイス』 主催：霞が関(KK2)をつくる市民キャビネット・子ども教育部会	2013/02/01(金) 17:30-21:00	19名			(19名)		31名	50名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2013/02/13(水) 11:30-14:30	12名	(3名)	(8名)	(1名)			12名
東日本大震災復興支援活動 第2回報告会 ～ランチミーティング@番外編～ 主催：サンケイリビング新聞社	2013/03/08(金) 15:00-18:00	47名	(3名)	(20名)	(24名)	10名	32名	89名
霞が関(KK2)ランチミーティング 主催：NPO法人NPO事業サポートセンター	2013/03/13(水) 11:30-14:30	12名	(3名)	(8名)	(1名)			12名
合計		468名	(45名)	(132名)	(291名)	10名	63名	541名

NPO法人に協力								
タイトル	開催日時	参加者数						合計
		スタジオ				ライブ 職場・自宅	オンデマンド 視聴者	
春の生涯学習ウィーク 2013「働くあなたのための講座」仕事に生かせる認知心理学入門 主催：サンケイリビング新聞社	2012/03/14(水) 19:00-20:30	59名				11名		70名
春の生涯学習ウィーク 2013「働くあなたのための講座」ビジネスをフローさせるための“リラックス脳”づくり法 主催：サンケイリビング新聞社	2012/03/15(木) 19:00-20:30	17名				10名	43名	70名
合計		76名				21名	43名	140名

(3) しごと力向上・エキスパートと学ぶ

-1 キャリア教育番組「エキスパート・スタジオ」～社会で活躍する人のしごと力を学ぶ～

今年度は、第19～24回「エキスパート・スタジオ」で、さまざまな分野で活躍する6人のエキスパートをゲストに迎え「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」などについて考え学ぶ、インタビュー形式のライブセミナーとして開催しました。

また、オンデマンド視聴による参加者に、自分のロールモデルを見つけていただき、ゲストのコンピテンシー(活躍する人の行動特性)やしごと力を学んでいただくWEB番組として公開しました。

写真-3 今年度のエキスパート・スタジオ出演者



図-10 第19～第24回「エキスパート・スタジオ」ゲストのコンピテンシー

タイトル	所属	開催日時	人間力				知・考力				行動力 実行力	地域 の再生	人 と 人 と の 絆	育 成 し ご と 力 向 上	エ キ ス パ ー ト の 力	ア ク ティ ブ シ ニ ア
			自己 認識 力	感情 マネ ジ メント 力	共 感 力	コ ミ ュ ニ ケー ション 力	状 況 把 握 力	原 因 究 明 力	選 択 決 定 力	リ ス ク 分 析 力						
第19回 ソーシャルプロデューサー 堀池 喜一郎さん	好齡ビジネスパートナーズ 世話人	2012/07/06(金) 17:00-18:30			●				●			●		●	●	●
第20回 航空業界総合職技術職 日比 啓太郎さん	全日本空輸株式会社 整備 本部 機体メンテナンスセン ター 業務推進室	2012/09/11(火) 17:00-18:30		●						●				●		
第21回 オーナーバーテンダー 井口法之さん	GASLIGHT オーナーバーテンダー	2012/10/18(木) 18:30-20:00	●								●			●		
第22回 地方公務員 高野 誠鮮さん	羽咋市役所農林水産課 ふるさと振興係	2012/12/6(木) 18:00-19:30					●				●	●	●	●		
第23回 IT業界プロデューサー 角田 美紗季さん	ヤフー株式会社 ソーシャル アクション室 復興支援室 「復興デパートメント」プロ デューサー	2013/2/15(金) 18:30-20:00		●					●				●	●		
第24回 社会保険労務士 味園 公一さん	味園社会保険労務士事務 所 代表 特定社会保険労務士	2013/3/22(金) 18:30-20:00				●					●			●		

図-11 第19～第24「エキスパート・スタジオ」参加者数

タイトル	開催日時	参加者数									
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ配信				オンデマンド ² 視聴者	合計
						末崎公民館 (衛星)	長洞元氣村 (衛星)	その他会場 安芸高田市 生涯学習センター	職場・自宅		
第19回 ソーシャルプロデューサー 堀池 喜一郎さん	2012/07/06(金) 17:00-18:30	47名	(9名)		(38名)	4名	10名	-	15名	172名	248名
第20回 航空業界総合職技術職 日比 啓太郎さん	2012/09/11(火) 17:00-18:30	21名	(13名)		(8名)	2名	0名	-	24名	307名	354名
第21回 オーナーバーテンダー 井口法之さん	2012/10/18(木) 18:30-20:00	38名	(8名)	(6名)	(24名)	1名	9名	-	16名	76名	140名
第22回 地方公務員 高野 誠鮮さん	2012/12/6(木) 18:00-19:30	55名	(14名)	(28名)	(14名)	6名	4名	12名	22名	239名	338名
第23回 IT業界プロデューサー 角田 美紗季さん	2013/2/15(金) 18:30-20:00	23名	(3名)	(20名)		1名	1名	-	11名	15名	51名
第24回 社会保険労務士 味園公一さん	2013/3/22(金) 18:30-20:00	25名	(19名)	(3名)	(3名)	2名	6名	-	6名	名	39名
	合計	209名	(63名)	(59名)	(87名)	16名	30名	12名	94名	809名	1,170名

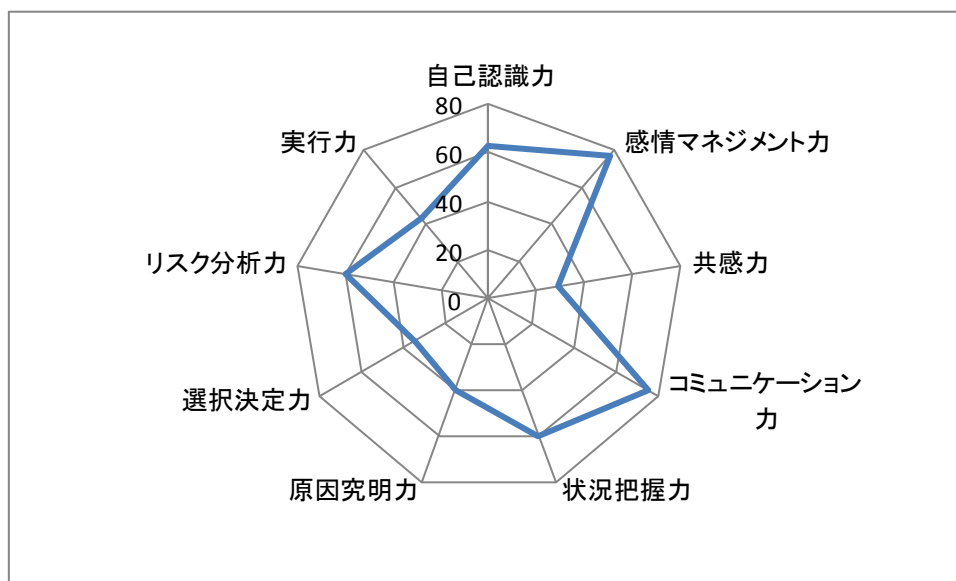
-2 コンピテンシー・チェック

～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

コンピテンシー・チェックは、様々な分野で活躍している方々に共通のコンピテンシー(社会で活躍する人の行動特性)を、「Feel＝人間力」(自己認識力、感情マネジメント力、共感力、コミュニケーション力)、「Think＝知・考力」(状況把握力、原因究明力、選択決定力、リスク分析力)、「Act＝行動力」(実行力)のカテゴリー別に学び気付くシステムです。KK² Web サイトでの受講者数は22名と多くありませんが、カテゴリー別平均スコアを記載しました。本チェックは、善し悪しをチェックするのではなく、必要な意識変革やのぞましい行動などを理解し、よりよい行動特性を身に付けていくためのシステムです。

図-12 コンピテンシー・チェック平均スコア

単元CD	タイトル		平均スコア
人間力			
6	自己認識力	ケーススタディ「就職活動」	63
7	感情マネジメント力	ケーススタディ「年下の上司」	77
8	共感力	ケーススタディ「父親の転勤」	29
9	コミュニケーション力	ケーススタディ 「バイトのシフト交替」	75
知・考力			
1	状況把握力	ケーススタディ「町のゴミ問題」	60
	原因究明力	ケーススタディ 「パソコン故障の原因」	40
2			
3	選択決定力	ケーススタディ「妹の進路決定」	35
4	リスク分析力	ケーススタディ「犬小屋づくり」	60
行動力			
5	実行力	ケーススタディ 「アイスホッケーのスター になるために」	43



-3 KK²しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～

「KK²しごと力道場」は、普段の職場では改まって考える機会が少ない普遍的なテーマについて、参加者同士の対話を通して、さまざまな視点から考え、自分なりの答えを出す場です。伊庭野基明氏（KK²グローバルキャリアカウンセラー・ビジネスコーチ）を師範に、池田正夫氏（人材育成コンサルタント）を師範代・コーディネータに、以下の3点を達成目標に掲げ開催しました。

写真-4 しごと力道場



- ① 物事の本質を深く考えることで、洞察力を高め、自分自身の考え・軸を持つことができる（アイデンティティ）
- ② さまざまなジャンルの人の考え方を知り、視野を広げることができる他流試合（ダイバーシティ）
- ③ 参加者との交流、人脈拡大の機会を得ることができる（ネットワーキング）

図-13 しごと力道場参加者数

タイトル	開催日時	参加者数					合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	オンデマンド 視聴者	
第3回 KK ² しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～	2013/02/02(土) 13:00-17:30	11名	(8名)		(3名)	75名	86名

-4 しごと力向上ライブラリ

～いつでもどこでも学べるしごとに必要な「Skill」「Knowledge」～

学校であまり教えない"しごと力"、就業しても学ぶ機会の少ない"しごと力"、仕事や社会活動に必要な知識やスキル習得に資する教材を、毎月 1 本開発し「しごと力向上ライブラリ」を構築し、コンテンツを公開して参りました。

H24 年度は「21 世紀の日本人に必要な力」「仕事に役立つ会計の基本」「被災地ボランティアに行く前に」など 7 講座 12 コンテンツを開発しました。この 12 コンテンツの学習者は 1,632 名、すべてのライブラリ 61 講座 180 コンテンツの年間学習者数は延べ 7,000 名となっています。講座の開発にあたっては、講師をお務めいただいた各分野の専門家の方々の無償でのご協力で支えられています。

写真-5 しごと力向上ライブラリ（7 講座）



21世紀の日本人に必要な力
講師: 伊庭野基明氏
(グローバルキャリアカウンセラー
ビジネスコーチ)



個人情報保護のための
内部監査入門編
講師: 大西周氏
(情報セキュリティアドバイザー)



仕事に役立つ会計の基本
講師: 野田弘子氏(公認会計士)



しごとのできる人の行動特性
講師: 伊庭野基明氏
(グローバルキャリアカウンセラー
ビジネスコーチ)



被災地支援ボランティアに行く前に
講師: 古賀久恵氏
(ボランティア・コーディネーター)



スマートフォンのセキュリティ対策
講師: 大西周氏(講師)
(情報セキュリティアドバイザー)



苦情・クレーム対応入門編
講師: 地村健太郎氏
(日本アイラックセールス
アンドマネジメント株式会社)

図-14 H24 年度公開 しごとと力向上ライブラリー一覧

	視聴時間	人間力				知・考力				行動力	知識・理解				技能				入門しごと力	オンデマンド
		自己認識力	力感情報マネジメント	共感力	シカコミュニケーション	状況把握力	原因究明力	選択決定力	リスク分析力		ビジネス	法律	健康	生活・文化	ビジネススマナ	ビジネススキル	ITスキル	マネジメントスキル		
平成24年4月 21世紀の日本人に必要なから「レジリエンス(弾力的)」のセルフチェック	14分38秒	●	●			●					●		●						●	385名
平成24年5月 個人情報保護のための内部監査入門 單元3 監査チェックリストの作り方・使い方事例	12分45秒										●	●				●				104名
平成24年6月 21世紀の日本人に必要なから「レジリエンス(弾力的)」を身につける方法	14分32秒	●	●			●					●		●						●	※4月の集計に含む
平成24年7月 仕事に役立つ会計の基本 ～管理会計入門編～ 意思決定会計としての管理会計	15分51秒										●					●			●	406名
平成24年8月 仕事に役立つ会計の基本 ～管理会計入門編～ コストマネジメント	16分43秒										●					●			●	
平成24年9月 仕事に役立つ会計の基本 ～管理会計入門編～ 損益分岐点分析	12分51秒										●					●			●	
平成24年10月 しごとのできる人の行動特性～ コンピテンシーを学ぶ～	12分37秒	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●	309名
平成24年11月 被災地支援ボランティアに行く前に知っておきたいこと 「被災地支援ボランティアとは」	16分21秒			●	●					●				●					●	298名
平成24年12月 被災地支援ボランティアに行く前に知っておきたいこと 「無理のないボランティア活動をするための 具体的なヒント」	16分40秒			●	●					●				●					●	
平成25年1月 被災地支援ボランティアに行く前に知っておきたいこと 「おしゃべりが人を救う」	15分02秒			●	●					●				●					●	
平成25年2月 スマートフォンのセキュリティ対策	9分47秒										●					●				104名
平成25年3月 苦情・クレーム対応入門編 ～お客様のお申し出に的確に対応できますか～	13分08秒										●					●				26名
																				1,632名

-5 KK² カウンセリングプログラム

～キャリアについて経験豊かな専門家が相談に乗ってくれます～

カウンセリングプログラムは、NPO 法人日本キャリア開発協会（JCDA）と提携し、KK² Web サイトに月～金まで1日4コマの予約カレンダーを掲示し、申し込みを受付けています。相談時間は1回45分程度、費用は無料です。24年度は41名の方が相談に来られ、相談内容としては転職と就職に関する相談が約80%を占めています。参加者はアソシエイト層だけでなく、リーダー層・シニア層と年齢層の幅が広いのが特徴です。ご担当いただいたカウンセラーの方々の無償でのご協力で支えられています。

図-15 担当カウンセラーと曜日

		担当曜日
堀田治見氏	株式会社ビジネスパラダイム（日本）代表取締役	月曜日
徳橋英治氏	JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	火曜日
垣内啓江氏	JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	水曜日
田代理恵氏	JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	木曜日
田代理恵氏	JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	金曜日

-6 [KK² キャリアカフェ](#) ～専門的な職種に精通している方と話ができる場～

※H24 年度新規事業

キャリアカフェは1対1のカウンセリング事業は“ちょっとハードルが高い”とする方々を対象に、和やかな囲気で気軽に職業や働き方を学ぶプログラムとして H24 年度から開催しています。毎回、様々な分野で活躍する方を“キャリアメンター”としてゲストに招き、自分のキャリア、仕事や職場の実際を語ってもらい、また、参加者からの質問に答えていただく構成です。特徴はユニークなゲストが多いこと、会って話を聞いてみると、仕事や職場の魅力が初めて理解できることなどです。募集人数は12名程度にしており、参加者には全員自己紹介もしていただいております、楽しくアクティブで密度の濃いキャリアについて考える場となっています。

図-17 キャリアカフェ参加者数

タイトル	開催日時	参加者数					合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	オンデマンド視聴者	
第1回KK ² キャリアカフェ 野崎 大輔氏 Hunt& Company社会保険労務士事務所代表	2012/04/19(木) 19:00-21:00	6名	(1名)		(5名)	0名	6名
第2回KK ² キャリアカフェ 郡司 清春氏 株式会社原宿シカゴ 物流部部长	2012/06/26(火) 19:00-21:00	9名	(5名)		(4名)	5名	14名
第3回KK ² キャリアカフェ 菅澤 聡氏 株式会社オーシャナイズ 代表取締役社長	2012/09/27(木) 19:00-21:00	9名	(4名)	(3名)	(3名)	15名	24名
第4回KK ² キャリアカフェ 藤井 留美氏(翻訳家)	2012/11/30(金) 19:00-21:00	10名	(6名)	(4名)		74名	84名
第5回KK ² キャリアカフェ 下西 敦子氏 変態企業カメレオン 取締役兼最高飼育責任者	2013/01/24(木) 19:00-21:00	12名	(4名)	(4名)	(4名)	42名	54名
第6回KK ² キャリアカフェ 吉成 篤氏 セールストレーニング研究所 × 吉成中小企業診断士事務所代表	2013/03/26(火) 19:00-21:00	7名	(6名)	(1名)		0名	7名
合計		53名	(25名)	(12名)	(16名)	136名	189名

-7 [KK² good books](#) ～KK²のおすすめ書籍情報～

※H24 年度新規事業

ネット社会が進展し情報量が飛躍的に伸びていく中、必要な情報をどう見つけるのかが課題です。一方国民一人当りの平均読書冊数は、10代20代に比べて30代からがぐんと減り、年と共に減り続けることが示されています。「忙しくて本も読めない」のかも知れませんが、せめて「本を読みたい」という気持ちを後押ししたいと考え、(1)人と人の絆地域の再生、(2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ、(3)社会の課題を担うアクティブシニアを応援、という三つの視点で推薦書籍を厳選し毎月10冊年間120冊程度、約500文字程度の紹

介文をつけ、推奨書籍情報として提供しています。H24 年 3 月末時点で 60 タイトルを公開しています。

図 17-2 good books 一覧

公開月日	書名	著者	人間力				知・考力				行動力		知識・理解			技能				地人 域の再生 と人との 育成しごと の向上	エクス パートの 力向上	アク ティビ ティ
			自己 認識力	感情 マネジメント 力	共 感力	コ ミュ ニ ケー ション 力	状 況 把握 力	原 因 究 明 力	選 択 決 定 力	リ ス ク 分 析 力	実 行 力	ビ ジ ネ ス	法 律	健 康	生 活・文 化	ビ ジ ネ スマ ナ ー	ビ ジ ネ スマ ナ ー	IT スキ ル	マ ネ ジ メ ン ト スキ ル			
2012/10/5	『ローマ法王に米を食べさせた男』 通称の村を救ったスーパー公務員は何をしたか？	高野 誠鮮							●											●	●	●
2012/10/5	『100の思考実験』-あなたはどこまで考えられるか	ジュリアン・バジーニ					●	●	●												●	
2012/10/12	『プロの資料作成力』	清水 久三子				●	●										●				●	
2012/10/12	『前に進む力』	ダグラス・ハーヴァインズ ／ 藤部 徹			●										●						●	●
2012/10/19	『残念な人の仕事の中身』-世界 中の調査からわかった「組織で 評価されない人」の共通点	ロバート・W・ゴールドファー ブ				●	●														●	
2012/10/19	『ダントツ経営』	坂根 正弘					●				●								●		●	
2012/10/25	『イシューからはじめよ』-知的生 産の「シンプルなお本質」	安宅 和人						●	●										●		●	
2012/10/25	『怒らない技術』	嶋津 良智		●			●														●	
2012/10/25	『ニッポンには対話がない』-学び とコミュニケーションの再生	北川 達夫／平田 オリザ				●														●	●	
2012/10/25	『幸福優位7つの法則』-仕事も 人生も充実させるハーバード式 最新成功理論	ショーン・エイカー		●										●							●	
2012/11/1	『プロフェッショナルサラリーマン』	侯野 成敏	●						●												●	
2012/11/1	『世界とつながるビジネス』-BOP 市場を開拓する5つの方法	国連開発計画										●									●	●
2012/11/1	『こんなに働いているのに、なぜ 会社は良くならないのか？』-人 と組織がバフフルに生まれ変わる 方法	森田 英一	●									●									●	●
2012/11/8	『「対話」がはじまるとき』-互いの 信頼を生み出す12の問いかけ	マーガレット・J・ウィートリー			●																●	●
2012/11/8	『牛に化粧品を売る』-「生涯顧 客」を作る、カリスマ販売員の接 客習慣	長谷川 桂子			●	●															●	●
2012/11/15	『ニュータイプ』他社を動かし、 ビッグビジネスを実現する人々	鈴木J 貴博																	●	●	●	●
2012/11/15	『ビジネスについてあなたが知っ ていることはすべて間違ってい る』	アラスデア・ドライバーグ	●				●				●										●	
2012/11/22	『ハーバードビジネススクールが 教えてくれたこと、教えてくれな かったこと』-起業した卒業生3人 の10年間	ビル・マーフィー・ジュニア	●							●	●										●	
2012/11/22	『40代を後悔しない50のリスト』- 1万人の失敗談からわかった人 生の法則	大塚 寿	●						●	●									●		●	
2012/11/29	『地域再生』-行政に頼らない「む ら」おこし-	豊重哲郎				●					●										●	●
2012/12/6	『人を助けるすごい仕組み』-ボ ランティア経験のない僕が、日本 最大級の支援組織をどうつづけた のか	西條 剛央			●						●										●	●
2012/12/6	『地域をプロデュースする仕事』- 組織的コミュニケーションとは何 か	玉沖 仁美				●					●								●	●	●	●
2012/12/13	『ソーシャルエコノミー 和をしか ける経済』	阿久津 聡／谷内 宏行／ 金田 育子／鷲尾 恒平				●									●			●			●	
2012/12/13	『情報をさばく技術』	木山 泰嗣					●										●		●		●	
2012/12/13	『世界で勝負する仕事術』-最先 端ITに挑むエンジニアの激走期	竹内 健				●					●							●		●	●	
2012/12/20	『100歳の金言』	日野原 重明		●											●						●	●
2012/12/20	『フューチャーセンターをつくらう』	野村 恭彦				●									●						●	●
2012/12/27	『ポスト3・11 変わる学問』-気 象学からの変遷	学校法人 河合塾					●				●										●	●
2012/12/27	『戦略と実行』-組織的コミュニ ケーションとは何か	清水 勝彦				●					●								●		●	●

公開月日	書名	著者	人間力				知・考力				行動力	知識・理解			技能				地域との再生	人と人との絆と	育成しごと・力向上	アクティブシニア
			自己認識力	感情マネジメント力	共感力	コミュニケーション力	状況把握力	原因究明力	選択決定力	リスク分析力	実行力	ビジネス	法律	健康	生活・文化	ビジネスマナー	ビジネススキル	ITスキル				
2012/12/27	『僕は君たちに武器を配りたい』	瀬本 哲史							●		●				●						●	
2013/1/4	『ビッグデータの衝撃』	城田 真琴									●					●					●	
2013/1/4	『世界を変える偉大なNPOの条件』	レスリー・R・クラッチフィールド／ヘザー・マクラウド・グラント								●							●	●			●	
2013/1/11	『マネジャーの実像』-「管理職」はなぜ仕事に追われているのか	ヘンリー・ミンツバーグ																			●	●
2013/1/11	『ブランドのそでかた』	中川 淳／西澤 明洋					●				●						●				●	
2013/1/17	『すべての仕事は「逆」から考えるとうまい』	ロブ・ヴァン・ハーストレッチト／マーティン・シーブパワアー					●		●	●											●	
2013/1/17	『ブライバシー・バイ・デザイン』-ブライバシー情報を守るための世界的新潮流	堀部 政男／一般財団法人日本情報経済社会推進協会／アン・カブキアン											●				●				●	●
2013/1/17	『インサイド・アップル』	アダム・ラシンスキー								●							●	●			●	
2013/1/24	『生産性を向上させるクラウド徹底活用入門』	坂本 恒之															●	●			●	
2013/1/24	『アダプト思考』-予測不能社会で成功に導くアプローチ	ティム・ハーフォード					●	●													●	
2013/1/24	『O2O 新・消費革命』	松浦 由美子									●			●			●				●	
2013/1/30	『BEソーシャル！』-社員と顧客に愛される5つのシフト	斉藤 徹									●										●	
2013/1/30	『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』-東大生バイオベンチャー「ユウグレナ」のとてつもない挑戦	出雲 亮			●						●									●	●	●
2013/2/7	『ビッグデータ時代の新マーケティング思考』	横山 隆治／海老根 智仁／鹿毛 比呂志					●				●						●				●	
2013/2/7	『カレーの経営学』	井上 岳久									●										●	
2013/2/7	『コーポレートコミュニケーション経営』	柴山 慎一			●	●					●										●	
2013/2/14	『佐藤さんはなぜいっぱいいるのか？』-身近な疑問から解き明かす「商標」入門	茅原 裕二										●	●								●	
2013/2/14	『「心の時代」にモノを売る方法』	小阪 裕司					●				●										●	
2013/2/21	『グワンシ』-中国人との関係のつくりかた	デイヴィッド・ツェノ／古田 茂美				●									●						●	
2013/2/21	『なぜ、それを買わずにはいられないのか』-ブランド仕掛け人の告白	マーティン・リンストローム		●							●			●							●	
2013/2/21	『商店街はなぜ減っているのか』-社会・政治・経済史から探る再生の道	新 雅史									●			●							●	
2013/2/28	『聞く力』-心をひらく35のヒント	阿川 佐和子			●	●															●	
2013/2/28	『「豊かな地域」はどこがらがうのか』-地域間競争の時代	根本 祐二					●	●												●	●	●
2013/3/7	『億を動かす』-新浪剛史 ローソン作り直しの10年	池田 信太郎							●		●							●	●		●	●
2013/3/7	『社労士 大槻哲也の奮闘記』-挑戦の先に見えるもの	大槻 哲也									●	●									●	●
2013/3/14	『新しい市場のつくりかた』	三宅 秀道									●			●							●	
2013/3/14	『「予測市場」という新戦略』	ドナルド・トンプソン									●										●	
2013/3/21	『クラウドビジネスと法』	一般財団法人ソフトウェア情報センター										●					●				●	
2013/3/21	『間接けの構造』	ビートたけし				●										●						
2013/3/28	『モバイルクラウド』	八子 知礼											●				●				●	
2013/3/28	『デジタルネイティブの時代』-なぜメールをせずに「つぶやく」のか	木村 忠正											●				●				●	

-8 イノベーションプログラム～産学官連携による大学教育改革プログラム～

全国の大学における実践的・先進的な取り組みの発表と連携・交流の場として、これまで16回開催してまいりました。プログラムの模様は毎回インターネットでライブ配信しており、全国の国公私立大学等でネット上からの参加が可能です。H24年度は大学と社会との連携、産学連携、キャリア教育、就労支援をテーマに、寺澤庸介氏（HRプロ（株）代表取締役/HR総合調査所所長）を講師に実施しました。

図-18 イノベーション参加者数

タイトル	開催日時	参加者数						合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ 職場・自宅	オンデマンド 視聴者	
第16回イノベーションプログラム「若手ビジネスパーソンのパフォーマンスの最大化：育成・採用と大学時の活動」	2012/05/24(木) 18:00-19:30	13名	(3名)	(10名)		75名	190名	265名

-9 その他（協賛プログラム）

サンケイリビング新聞社主催、文部科学省後援の春の生涯学習ウィーク 2013「働くあなたのための講座」に会場の協力を行いました。

図-19 その他参加者数

タイトル	開催日時	参加者数			合計
		スタジオ (一般)	ライブ 職場・自宅	オンデマンド 視聴者	
春の生涯学習ウィーク 2013「働くあなたのための講座」 仕事に生かせる認知心理学入門 主催：サンケイリビング新聞社	2012/03/14(水) 19:00-20:30	59名	11名		70名
春の生涯学習ウィーク 2013「働くあなたのための講座」 ビジネスをフローさせるための“リラックス脳”づくり法 主催：サンケイリビング新聞社	2012/03/15(木) 19:00-20:30	17名	10名	43名	70名
合計		76名	21名	43名	140名

(4) 社会の課題を担うアクティブシニアを応援

アクティブシニア版キャリア教育番組「エキスパート・スタジオ」

～「地域再生」には、シニアの経験と知恵と力が必要不可欠～

アクティブシニア版「エキスパート・スタジオ」は、定年退職後、企業から地域へ、新たなフィールドで課題解決に活躍するシニアをゲストに招き、人生二周目のやりがい・生きがいやこれからの夢などを語っていただきました。H24年度は東京都多摩地区を中心に全国でシニアの地域参を指南している堀池喜一郎氏をゲストに迎えてライブセミナーを開催、編集後WEBで公開し多くのシニアに気付き、きっかけを提供しました。

図-20 アクティブシニア版「エキスパート・スタジオ」参加者

タイトル	開催日時	参加者数									オンデマンド視聴者	合計
		KK²施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ配信			職場・自宅			
						末崎公民館 (衛星)	長洞元気村 (衛星)	その他会場 安芸高田市生涯学習センター				
第19回 ソーシャルプロデューサー堀池 喜一郎さん	2012/07/06(金) 17:00-18:30	47名	(9名)		(38名)	4名	10名		15名	172名	248名	

(5) 日本文化に親しむ交流事業 (KK²文化プログラム)

霞が関という街にはお堅いイメージが強く、人が集まる開かれた雰囲気が乏しい。あえてそこで古典芸能、音楽、映画、食文化などの文化イベントを実施、ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と交流の場を提供してきました。文化庁の「霞が関から文化力」事業として認定され文化庁の Web サイトでも広報されています。主な KK²文化プログラムは前述の通り、岩手県の被災地域の末崎地区公民館と長洞元気村仮設住宅集会所にライブ配信しました。主なプログラムは次の通りです。

-1 ワインセミナー

「食と文化」がテーマ。世界各地のワインを取上げ、世界のチーズとの組み合わせについて、ビジネスパーソンが気軽に知識を身につけられる機会と異業種の方々の交流の場を提供しました。



図-22 ワインセミナー参加者

タイトル	開催日時	参加者数					
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	オンデマンド視聴者	合計
ワインセミナー ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～イタリア編～	2012/04/20(金) 19:00-20:30	26名	(4名)	(22名)		0名	26名
初心者のための“ワインとチーズの組み合わせ”シリーズ ヨーロッパの代表的なチーズとおすすめワイン	2012/06/29(金) 19:00-20:30	32名	(9名)	(23名)		164名	196名
初心者のための“ワインとチーズの組み合わせ”シリーズ 日本のプレミアムチーズとおすすめワイン	2012/09/20(木) 19:00-20:30	26名	(13名)		(13名)	157名	183名
初心者のための“ワインとチーズの組み合わせ”シリーズ ホームパーティにおすすめのワインとチーズ	2012/11/29(木) 19:00-20:30	26名	(12名)		(4名)	87名	113名
初心者のための“ワインとチーズの組み合わせ”シリーズ チーズの「旬」と「熟成変化」を楽しもう！ ～おすすめワインと合わせて食べくらべ～	2013/3/1(金) 19:00-20:30	26名	(11名)	(10名)	(5名)	66名	92名
合計		136名	(59名)	(55名)	(22名)	474名	610名

-2 霞が関寄席

熱心に芸を磨く落語家、講談師の方々に高座に上る機会を提供し、お堅い霞が関のビジネスパーソンが伝統芸能に触れ、また笑いでストレス発散、リラックスする場を提供しました。



図-23 霞が関寄席参加者数

タイトル	開催日時	参加者数							合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ配信		オンデマンド視聴者	
						末崎公民館 (衛星)	長洞元氣村 (衛星)		
四月 霞が関寄席 神田織音の江戸へいざなう講談会	2012/4/26(木) 19:00 - 20:30	12名	(5名)		(7名)	13名	3名	87名	115名
五月 霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2012/5/30(水) 19:00 - 20:30	90名	(41名)	(47名)	(2名)	15名	8名	108名	221名
六月 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	2012/06/22(金) 19:00 - 20:30	23名	(1名)	(11名)	(11名)	7名	10名	75名	115名
七月 霞が関寄席 立川談慶霞が関独演会	2012/07/18(水) 19:00 - 20:30	20名	(3名)	(10名)	(7名)	6名	4名	0名	30名
八月 霞が関寄席 金原亭若手一門会	2012/8/31(金) 19:00 - 20:30	31名	(5名)	(19名)	(7名)	12名	8名	119名	170名
九月 霞が関寄席 立川談慶霞が関独演会	2012/9/28(金) 19:00 - 20:30	31名	(3名)	(17名)	(11名)	1名	5名	0名	37名
十月 霞が関寄席 神田織音の江戸へいざなう講談会	2012/10/26(金) 19:00 - 20:30	23名	(8名)		(15名)	2名	6名	37名	68名
十一月 霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2012/11/28(水) 19:00 - 20:30	104名	(48名)	(34名)	(22名)	0名	5名	74名	183名
十二月 霞が関寄席 立川談慶霞が関独演会	2012/12/26(水) 19:00 - 20:30	23名	(6名)	(11名)	(6名)	3名	3名	0名	29名
新春 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	2013/01/25(金) 19:00 - 20:30	16名	(3名)	(7名)	(6名)	6名	0名	26名	48名
二月 霞が関寄席 金原亭若手一門会	2013/02/22(金) 19:00 - 20:30	39名	(18名)	(7名)	(14名)	1名	3名	28名	71名
三月 霞が関寄席 立川談慶霞が関独演会	2013/03/27(水) 19:00 - 20:30	29名	(3名)	(4名)	(22名)	4名	5名	0名	38名
	合計	441名	(144名)	(167名)	(130名)	70名	60名	554名	1125名

-3 霞が関ミュージックサロン

アフターファイブ、都心のビジネスパーソンの方々に気軽に良質の音楽・伝統芸能に親しんでいただくためのサロンとして、(株) ミュウカルと共同企画し開催しました。



図-23 霞が関ミュージックサロン 参加者

タイトル	開催日時	参加者数							合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	ライブ配信		オンデマンド視聴者	
						末崎地区公民館(衛星)	長洲元氣村(衛星)		
第12回「チェリスト安田謙一郎と若い仲間」～チェロとヴァージナルのタベ～	2012/05/25(金) 19:00-20:00	45名	(1名)		(44名)	3名	9名	531名	588名
第13回“霞が関Summer Live”♪ 佐藤慶子とその仲間♪	2012/08/02(木) Aステージ 17:30～19:00	51名	(15名)	(2名)	(34名)	13名	1名	276名	341名
第14回「霊験の世界・中村明一の尺八による《虚無僧》音楽、そして《倍音》の神秘」	2012/11/08(木) 19:00-20:00	43名	(4名)		(39名)	0名	4名	77名	124名
		合計 139名	(20名)	(2名)	(117名)	16名	14名	884名	1053名

-4 霞が関シアター+トークイベント

H24 年度は、南海放送制作の「放射能を浴びた X 年後」を上映、伊藤英朗監督と脳分子生物学者の桃井隆教授をゲストにトークイベントを実施しました。



図-23 霞が関シアター参加

タイトル	開催日時	参加者数					合計
		KK ² 施設	(メンバー)	(Web会員)	(一般)	オンデマンド視聴者	
霞が関シアター+トークイベント 「放射線を浴びたX年後」	2013/03/04(月) 19:00-21:15	25名	(10名)	(13名)	(2名)	78名	103名

(5) Web サイト・メールマガジン等による情報発信

-1 霞が関ナレッジスクエア Web サイト

KK² WEB サイトには以下のような分類でプログラムが公開されており、いつでも、どこでも、誰でも学べるデジタル公民館活動を支えております。

図-30 「しごと力」カテゴリ プログラム数

コンピテンシー 人間力	75
自己認識力	15
感情マネジメント力	8
共感力	24
コミュニケーション力	28
コンピテンシー 知・考力	49
状況把握力	21
原因究明力	6
選択決定力	13
リスク分析力	9
コンピテンシー 行動力	22
実行力	22
知識・理解	190
ビジネス／大学	52
法律	6
健康	20
生活・文化	112
技能	60
ビジネスマナー	10
ビジネススキル	26
ITスキル	7
マネジメントスキル	17
合計	396

図-31 「プログラム」カテゴリ プログラム数

KK2ライブセミナー	78
KK2しごと力道場	1
エキスパート・スタジオ	24
イノベーションプログラム	16
たおやかコンソーシアム	9
特別企画	28
しごと力向上ライブラリ	76
ビジネス	19
法律	5
健康	12
生活文化	12
ビジネススキル	19
ITスキル	6
マネジメントスキル	3
KK2文化プログラム	46
ワインセミナー	15
霞が関寄席	14
霞が関ミュージックサロン	13
霞が関シアター	4
社会人入門講座	19
合計	219

-2 霞が関ナレッジスクエア facebook ページ

KK²Web サイトと連動し、ゆるやかなファンとの交流を促進するために「facebook ページ」を運営しています。各種プログラムの告知、出演者からのメッセージ、エキスパート倶楽部のメニュー紹介などをおこなっています。



-3 メールマガジン「[メッセージ from KK²](#)」発行（毎週金曜日発行）

毎週金曜日に「メッセージ from KK²」を発行しています。毎回、読者へのメッセージを送るとともに最新の KK² ライブセミナー、KK² 文化プログラム、オンデマンドコンテンツの情報をお送りしています。H24 年度は、265 号まで配信しました。

-4 [KK² オリジナル DVD ライブラリ](#)

KK² が主催するプログラムは原則すべて収録し、WEB コンテンツとしてサイトで公開しライブラリ化していますが、インターネットが苦手な方や研修で使いたいというご要望にお応えし、収録した映像を DVD にし頒布する「KK² オリジナル DVD ライブラリ」をスタートしました。現在、頒布されているタイトルを以下の通りです。

図- DVD ライブラリー タイトル

タイトル	頒布価格
エキスパート・スタジオ 「社会で活躍する人のしごと力を学ぶ」 ソーシャルアントレプレナー 豊重哲郎さん	3,000円
地域再生からニッポン再生 豊重哲郎さんへの10の質問	2,000円
エキスパート・スタジオ 「社会で活躍する人のしごと力を学ぶ」地方公務員 高野誠鮮さん	3,000円

-5 [江戸 TOKYO 散歩](#) ～広重「名所江戸百景」と東京の今～
英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版公開

KK² では、2008 年春開設記念で制作した「江戸 TOKYO 散歩」を多言語化（英語/韓国語/中文簡体/中文繁体）し、Web サイトで公開しています。

これまでは、Web 会員のみに公開していましたが、2020 年東京五輪招致を応援という意図も含め誰でも見ることができる Web サイトに変更いたしました。

URL <http://edo-tokyo-sanpo.com/>

-6 霞が関ナレッジスクエア運営委員会

H24 年度運営委員会は、H23 年度事業報告及び H24 年度事業計画を 4 月 16 日に、H24 年度上半期報告を 10 月 17 日に実施いたしました。

図- 運営委員会委員リスト

委員	渡部 俊也	東京大学先端科学技術研究センター 教授
委員	福田 猛	一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
委員	霞が関7号館PFI株式会社	新日鉄エンジニアリング株式会社、大成建設株式会社、東京建物株式会社、株式会社久米設計
委員	久保田 了司	財団法人高度映像情報センター理事 霞が関ナレッジスクエア代表
委員	伊藤 健二	慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特任准教授
委員	伊庭野 基明	グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ
オブザーバー	文部科学省大臣官房会計課 管理班	
事務局	財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局	

Ⅱ コンサルティング事業

(1) 行政機関の情報化推進コンサルティング業務

-1 鶴居村情報通信基盤運用支援業務（北海道阿寒郡鶴居村）

村内全域に整備した **FTTH** 網の増設・移設・管理の運用に関する支援を行いました。

-2 鶴居村 IP 告知端末設置調査業務（北海道阿寒郡鶴居村）

情報通信基盤を活用した IP 告知端末を防災機関等へ設置するための調査・検討業務を行いました。

-3 府中市セキュリティ監査委託業務（東京都府中市）

情報セキュリティ外部監査を実施し、セキュリティ上の現状の問題点・改善点について、市へ助言・提案を行いました。また、幹部職員及び IT 推進担当者に対して、情報セキュリティ研修を行い、セキュリティに関する意識向上を図る支援を行いました。

-4 笛吹市セキュリティ監査業務（山梨県笛吹市）

情報セキュリティ外部監査・フォローアップ監査・職員アンケート等を実施し、セキュリティ上の現状の問題点・改善点について、市へ助言・提案を行いました。また、職員等に内部監査の研修会を行い、セキュリティ意識の向上を図る支援を行いました。

-5 甲州市新電算システム等運用支援業務委託（山梨県甲州市）

住民情報系システム・内部情報系システム・学校系教職員システムの運用支援を行いました。法改正や制度改正等におけるシステム更新における助言を行い、安定したシステム運用が行えるよう支援しました。

-6 甲州市収納事務等運用に関するアドバイザー業務委託（山梨県甲州市）

「コンビニエンスストアにおける収納」、「郵便振替 **MT** サービス」、「公金収納データ作成サービス」における税金等の収納業務における運用支援を行い、税・料金徴収等の収納率向上を図りました。

-7 勝沼地域総合局及びかつぬま情報館電算システム機器移設設計監理業務（山梨県甲州市）

勝沼地域総合局及びかつぬま情報館内の電算関連システム機器を改修して、勝沼地域総合局の新庁舎内へ移転するための、システム構築・改修工事の設計・施工監理を行いました。

-8 笛吹市住民情報系システム更新支援業務（山梨県笛吹市）

住民情報系システム更新における支援業務を行いました。新しい住民情報系システムが予定通り稼働するように構築管理も行いました。

-9 笛吹市議会中継システム設計業務（山梨県笛吹市）

議会中継システムを構築するための実施設計を行いました。老朽化に伴い、新たにマイク・カメラ・テロップを操作管理できるシステムを導入するための設計も行いました。

-10 笛吹市情報系・業務系ネットワーク統合調査業務（山梨県笛吹市）

現状の情報ネットワークシステムについて調査を行い、ネットワークシステムの統合について検討を行いました。また、他自治体やベンダー等の最新動向等についても調査し、市の新ネットワークとして導入するための課題・問題等について検討を行いました。

-11 中央市道路台帳統合業務施工監理業務委託（山梨県中央市）

道路台帳システム構築にあたり施工監理業務を行いました。道路台帳統合業務は、二業者による整備となるため、構築業者間においてスムーズな作業ができるように管理、調整を行いました。

-12 市川三郷町ネットワークサーバシステム更新設計監理業務（山梨県市川三郷町）

新サーバ・ネットワークシステムを構築するための設計を行いました。設計に際しては、サーバ仮想化等の技術を利用し、サーバ台数の削減を行い、使用する電気容量、機器における発熱量の低減化を同時に行うことを目的としました。

-13 「光のネットワーク」整備事業実施設計業者委託業務（広島県安芸高田市）

市内の FTTH 網整備の施工にあたり、監理業務を行いました。

（２）消防・防災関連システムコンサルティング業務

-1 内閣府中央防災無線網災害情報共有通信設備設計業務(内閣府)

東日本大震災の影響により延期となっていた福島県庁への災害情報共有通信設備等の導入に向けた実施設計業務を行いました。

-2 東京消防庁次期通信ネットワーク構築に基本設計委託（東京消防庁）

電話ネットワークの IP 化計画と、これに伴う事務系ネットワークとの統合に関する基本設計業務を行いました。

- 3 練馬区同報系防災行政無線デジタル化基本設計等業務委託（東京都練馬区）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。
- 4 大田区デジタル防災行政無線固定系更新施工監理業務（東京都大田区）
防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。
- 5 豊島区防災行政無線設備等移設設計業務(東京都豊島区)
豊島区役所移設予定に伴い、防災関連システムの移設検討を行いました。
- 6 荒川区防災行政無線音声到達調査業務
屋外拡声子局からの放送について、その到達状況の調査を現地にて行いました。
- 7 町田市防災行政無線デジタル化実施設計業務委託（東京都町田市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。
- 8 武蔵村山市無線放送施設整備事業に伴う実施設計委託（東京都武蔵村山市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。
- 9 小平市デジタル同報系防災行政無線設備設置工事設計業務委託（東京都小平市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。
- 10 東村山市無線放送施設整備事業に伴う施工監理業務委託（東京都東村山市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、施工監理業務を行いました。
- 11 川崎市同報系防災行政無線実施設計業務委託（神奈川県川崎市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。
- 12 秦野市消防救急無線デジタル化整備活動波基本設計業務（神奈川県秦野市）
消防救急無線活動波のデジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。
- 13 鳩山町防災行政無線デジタル化工事実施設計業務（埼玉県鳩山町）
防災行政無線同報系及び移動系デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。
- 14 松伏町防災用情報通信施設基本設計委託（埼玉県松伏町）
防災行政無線同報系デジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。

- 15 南房総市デジタル防災行政無線業者選定支援業務委託（千葉県南房総市）
防災行政無線デジタル化の入札にあたり、支援業務を行いました。

- 16 市川市デジタル防災行政無線設計書支援業務委託（千葉県市川市）
防災行政無線デジタル化の設計書に関して、見直し業務を支援しました。

- 17 常総市防災行政無線施設実施設計業務委託（茨城県常総市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 18 軽井沢町防災行政無線(同報系)デジタル化工事基本設計委託（長野県軽井沢町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。

- 19 池田町防災行政無線整備事業監理業務（長野県池田町）
防災行政無線の施工業者選定にあたりプロポーザル支援を実施し、施工監理業務も行いました。

- 20 高山村防災行政無線基本構想策定業務委託（長野県高山村）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本構想作成業務を行いました。

- 21 喬木村デジタル移動系防災行政無線設備設計管理業務（長野県喬木村）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、工程管理等の設計監理業務を行いました。

- 22 阿智村防災行政無線(デジタル同報系) 実施設計（長野県阿智村）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 23 辰野町防災行政無線デジタル化工事設計業務（長野県辰野町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 24 身延町防災行政無線施設デジタル更新設計業務委託（山梨県身延町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、同報系及び移動系の実施設計業務を行いました。

- 25 胆振東部消防組合消防救急無線デジタル無線設備整備施工監理業務
（北海道胆振東部地域）
消防無線デジタル化更新に伴う施工監理を行いました。

- 26 日高西部消防組合（平取支署）消防救急デジタル無線整備基本設計委託業務
（北海道日高西部地域）
消防無線デジタル化更新に伴う基本設計を行いました。

- 27 苫小牧市デジタル移動系防災無線実施設計業務（北海道苫小牧市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 28 岩見沢地区消防本部消防救急デジタル無線整備基本設計委託業務（北海道苫小牧市）
消防無線デジタル化更新に伴う基本設計を行いました。

- 29 みやこ町築城飛行場周辺無線放送施設設置工事監理業務（福岡県みやこ町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、施工監理業務を行いました。

- 30 北九州市同報系防災行政無線整備工事設計業務（福岡県北九州市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 31 川棚町防災行政無線調査設計業務（長崎県川棚町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 32 波佐見町防災行政デジタル無線整備工事監理業務（長崎県波佐見町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、施工監理業務を行いました。

- 33 日向市同報系防災行政無線調査・設計業務（宮崎県日向市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

- 34 霧島市防災行政無線統合デジタル化工事監理業務（鹿児島県霧島市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、施工監理業務を行いました。

- 35 指宿市デジタル防災行政無線同報系実施設計及び監理業務（鹿児島県指宿市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計及び監理業務を行いました。

- 36 南種子町防災行政無線（デジタル化）実施設計業務（鹿児島県南種子町）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(3) システムの運用・保守・構築等支援業務

-1 テレビ会議システム運用業務（独立行政法人国際協力機構）

独立行政法人国際協力機構（JICA）が運用する TV 会議システムの機能及び可能性を最大限に活用し、より効果的な遠隔技術協力を実現するため、遠隔技術協力に係る一連のシステムの運用業務を行いました。

JICA 本部に要員を配置し、JICA 本部 TV 会議室、国内拠点、在外拠点に設置された TV 会議システムの運用、貸出用 TV 会議装置類を利用した外部施設を接続した番組配信のための運用、及び一連の共通業務を含む管理を行いました。

-2 プライバシーマーク制度の認定審査支援業務

経済産業省が普及・啓蒙している個人情報保護に関する第三者認定制度である「プライバシーマーク認定制度」の認定業務について、(一財)日本情報経済社会推進協会及び(一財)放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

-3 甲州市電算システム関連一般職員研修業務委託（山梨県甲州市）

電算システムに関する一般職員向けの各種研修会を開催し、甲州市職員の業務能力の向上を図りました。

-4 導管研修センター新研修棟展示室展示設備の構築（東京ガス株式会社）

新研修棟展示室で放映する教育用 DVD の制作を行いました。

-5 松戸市文化ホール活動室運営業務（松戸市教育委員会）

松戸市教育委員会に対し下記業務を行いました。

- ① まちづくりファシリテーターの育成（ファシリテーション、場づくり）
- ② モデル事業の試行
- ③ 文化ホール活動室等の空間設計
- ④ 運営モデル設計

-6 松戸市生涯学習情報提供システム講師派遣業務（松戸市教育委員会）

松戸市教育委員会に対し、講師派遣等を行いました。

-7 松戸市生涯学習情報提供システム構築（松戸市教育委員会）

松戸市生涯学習情報提供システムのサイトを立ち上げました。

- 8 松戸市教育委員会生涯学習情報データベース構築（松戸市教育委員会）
松戸市者気教育団体、松戸市生涯学習ボランティアのデータベースを構築しました。
- 9 電子情報配信システム保守業務(公益財団法人松戸市文化振興財団)
文化振興財団デジタルサイネージシステムの保守業務を行いました。
- 10 ホール映像収録システム保守検業務(公益財団法人松戸市文化振興財団)
森のホール 21 の保守業務を行いました。
- 11 昭和女子大学 AV システム保守業務(学校法人昭和女子大学)
大学 1 号館等のシステム保守業務を行いました。
- 12 松本歯科大学 AV システム保守業務(学校法人昭和女子大学)
大学各教室等のシステム及び防犯カメラシステムの保守業務を行いました。
- 13 愛知大学東京事務所 PC 情報機器の保守業務（学校法人愛知大学）
愛知大学東京事務所に設置されている情報機器について保守業務を行いました。

Ⅲ 教材制作事業

（１）E ラーニング教材の制作（全国社会保険労務士会連合会）

全国の社会保険労務士の方が業務に必要な知識を学べる E ラーニングシステム「社会保険労務士研修システム」（全国社会保険労務士会連合会 運営）において提供する E ラーニング教材の制作を行いました。

-1 「高年齢者雇用安定法改正のポイント・中小企業のための高年齢者雇用と賃金」(6 単元)

①高年齢者雇用安定法改正のポイント（2 単元）

改正高年齢雇用安定法（平成 25 年 4 月 1 日施行）について、改正の目的や現在の高年齢者雇用を取り巻く状況、主な改正内容等について厚生労働省の担当行政官が解説しています。

②中小企業のための高年齢者雇用と賃金（4 単元）

法改正にあたり、人事制度の見直しや就業規則の変更等が必要な企業が多いことから、社労士として顧問先の中小企業にアドバイスすべき内容について解説しています。

-2 「労働契約法改正のポイント」(6 単元)

労働契約法改正(平成 25 年 4 月 1 日全面施行)に伴い、顧問先の事業所等からの相談に適切に対応するため、改正内容や事業主が有期労働契約を締結する際のポイントについて厚生労働省の担当行政官が解説しています。

-3 労働ADR実践マニュアルとその運用について(4 単元)

個別労働関係紛争に代理人として関与できる特定社労士の資格を持つ社労士は 1 万人を超えましたが、まだその専門性は有効に活用されていない実情があります。本講座では、あっせん手続きに関するマニュアルを具体的に解説しています。

-4 社労士総研 研究プロジェクト報告書発表動画(6 単元)

人事・労務管理や労働社会保険諸法令に特化したシンクタンク「社会保険労務士総合研究機構」が刊行する「研究プロジェクト報告書」平成 24 年度のテーマについて、担当した研究者らによる研究テーマに関するディスカッションを収録し E ラーニング教材化しました。

①「医療現場の労務管理について」(3 単元)

②「多様な雇用形態における人事労務管理の実態と社労士の果たすべき役割について」
(3 単元)

(2) DVD 教材の制作

-1 「基本介護技術 DVD 改訂版」(約 135 分)(公益財団法人 介護労働安定センター)

平成 18 年に制作した DVD「基本介護技術 DVD」(「やさしい介護の基本」、「清潔な身だしなみ」、「いのちを支えるために」257 分)を一部加工及び再編集し DVD 教材を制作しました。「介護職員初任者研修 補助教材 DVD」の一部として利用されています。

以上